

令和4年度決算に 対する総括質問(要旨)

10月18日
~20日
決算調査
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、1月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

大野治彦 (自民党)



4年度決算について問う

問 決算の財政・事務執行状況について伺う。

答 実質収支は18.9%減の10億8000万円余であった。事業執行については、No.1実現プランで掲げた施策の着実な

内田けんいちろう (自民党)



しょつれん「いたPay」まつりについて問う

問 キャンペーン対象店舗を区商店街連合会や区商店街振興組合連合会の加盟店舗に限定したことに對する見解は。

答 連合会への加盟を促進することで、商店街のにぎわい創出などを促進するものであり、対象店舗を限定することは、許容の範囲内である。

長瀬達也 (自民党)



定住者促進について問う

問 外国人の定住者促進のためには多文化共生の取組みが必要であるが、区の取組みは。

答 文化・国際交流財団と連携し、日本語教室の開催や伝統文化に触れる機会の提供などを通じ、外国人が安心して暮らせる環境を整えている。

高島平のまちづくりを問う



問 人口動態や人流データの根拠に基づいた提案が組み込まれるべき。

答 Wi-Fiセンサーやモバイルデバイスなどの新たな技術を活用した、データ連携によるまちづくりに取り組んでいく。

いしだ圭一郎 (公明党)



一人一台パソコンの使用ルールについて問う

問 睡眠時間8時間以上を目標に、YouTubeのログイン時間の制限を検討すべき。

答 校長や教員などで組織したプロジェクトチームの意見を取り入れ、健康上の配慮か

元山芳行 (自民党)



データドリブンマーケティングの導入を問う

問 さらなる事業の質の向上のため、勘や経験ではなく数字に基づいたデータドリブンマーケティングを導入すべき。

答 今後もデータを起点とする、エビデンスに基づく政策などの構築に取り組んでいく。

成島ゆかり (公明党)



フレイル予防事業を問う

問 フレイルチェックを受けられる環境整備と拡充を。

答 7年度には18圏域でのフレイルチェック測定会の実施を目標としており、フレイルサポーターの養成などを着実に進めつつ、フレイル予防の普及に取り組んでいく。

成島ゆかり (公明党)



がん検診について問う

問 区の受診率の現状について、見解は。

答 大腸がん以外のがん検診については、区の受診率は都内でも下位であるため、受診率向上のための努力が必要であると認識している。

空家対策について問う



問 空家対策における官民連携の考えについて伺う。

答 売却や賃貸などによる不動産の流通は、民間事業者などの連携が重要となる。他自治体の動向も併せて、慎重に調査・研究していく。

中妻じょうた (民主クラブ)



公契約条例の制定を求めて問う

問 取組状況と、改めて条例の制定を求め、見解は。

答 労働環境向上への取組みを具体化した要綱とチェックシートを策定し、5年度契約より適用している。まずは、これらを活用し、事業者の意識改革を一層促していく。

高沢一基 (民主クラブ)



「歩きたくなるまち板橋」の実現を問う

問 平成22年度に、健康長寿医療センターとウォーキングによる認知機能低下の予防効果を検証した。その研究成果を再評価し、事業への反映を再評価し、事業への反映を再評価し、高齢者の運動習慣の意識付けなどにつなげていく。

五十嵐やす子 (民主クラブ)



持続可能な事業継続のために問う

問 清掃職員に対して、空調付作業服の早期導入を。

答 効果を十分に発揮できるか、また、活用できるかの確認が必要。他自治体の状況などを情報収集し、迅速かつ適切な対応に取り組んでいく。

大森 大 (日本維新の会)



ふるさと納税について問う

問 影響額、区への寄付額は。

答 5年度の影響額は、27億7464万円。寄付額は、9月末時点で3949万8千円。

大野ゆか (いたばし未来)



志村小・志村四中の小中一貫型学校について問う

問 計画に反対する方の意見を受け止めてこそ、住民合意が得られると考える。見解は。

答 住民説明会で、反対意見を受け止めながら説明を尽くしてきたが、100%の住民合意には至っていない状況である。

石川すみえ (共産党)



特定妊婦への支援を問う

問 出産前から支援が必要とされる特定妊婦には、産前産後も安心して住み続けられる場所が必要。区内に、特定妊婦が守られる施設の確保を。

答 区内での施設の確保は考えていないが、妊婦の状況に合わせて支援を行っていく。

竹内 愛 (共産党)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

小林おとみ (共産党)



志村小・志村四中の小中一貫型学校について問う

問 計画に反対する方の意見を受け止めてこそ、住民合意が得られると考える。見解は。

答 住民説明会で、反対意見を受け止めながら説明を尽くしてきたが、100%の住民合意には至っていない状況である。

大野ゆか (いたばし未来)



子どもの池の運営を問う

問 暑さ指数的制約に鑑み、民間事業者委託を検討すべき。

答 地域の担い手とともに歩んできた経緯もあり、携わる方々の合意を前提として検討すべきと考える。

大野ゆか (いたばし未来)



暑さ指数的制約に鑑み、民間事業者委託を検討すべき。

答 地域の担い手とともに歩んできた経緯もあり、携わる方々の合意を前提として検討すべきと考える。

竹内 愛 (共産党)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

大野ゆか (いたばし未来)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

大野ゆか (いたばし未来)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

大野ゆか (いたばし未来)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

大野ゆか (いたばし未来)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

坂田れい子 (参政党)



コロナワクチン後遺症を問う

問 この医療機関に行っても断られることなく、後遺症の相談ができる体制を。

答 区医師会に、円滑に受診できるように支援することを重ねて周知していく。

しいなひろみ (無所属議員)



在宅介護を支える人材確保と定着支援について問う

問 事業所への家賃補助や報酬の上乗せ加算など、区独自の支援を積極的に行うべき。

答 国が行うべきものであり、区独自の対応は考えていない。